

# 明 — みょう —

真宗大谷派 本明寺通信

## No.56

2020年4月1日発行



住職は紙芝居を修行中です（本明寺子ども会・夏）

（2019年8月19日撮影）

東京一組教化テーマ

## さとりをすまて 迷いと生きる

Shinran  
S50<sup>th</sup>  
S00<sup>th</sup>

—〈宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ〉—

🌸 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

住職コラム

私たちの死因は病気ではない

ましてや新型コロナウイルスではない

## はじめに

まずは新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表すると共に、ご遺族の方々にお悔やみ申し上げます。また療養中の方々にお見舞い申し上げます、医療機関、私たちの生活の生活を守っていただいている多くの関係者に感謝と敬意を表します。

さて、この新型コロナウイルス

の影響により、社会に様々な変化が起こっており、行動の自粛、制限が求められ、3月上旬から学校は休校、卒業式も中止或いは規模縮小となり、入学式は行われるか未定の状態。

この状況に於いて、私自身も僧侶として、ご葬儀を勤めさせていただきます。その中で医療機関や福祉施設等での感染拡大防止策として、家族が施設内に立ち入ることができず、故人の最後に立

ち会うことができなかつたという話を聞いております。この様な「へさようなら」がないへさようならを経験したご遺族の方々にも少しでも寄り添わせていただきたいと考えながら、儀式やお話をさせていただきます。

## 疫癘の御文

この新型コロナウイルス感染症が拡大する中、本願寺第8代、蓮

如上人（1415～1499）のお言葉を思います。蓮如上人はご門弟、ご門徒の方に多くのお手紙、『御文（おふみ）』を書き残しています。そのお手紙の一通に「疫癘（えきれい）」と題した『御文』があります。

当時このごろ、ことのほかに疫癘とてひと死去す。これさらに疫癘によりてはじめて死するにはあらず。生まれはじめしよりしてさだまれる定業なり。さのみふかくおどろくまじきことなり。しかれども、いまの時分にあたりて死去するときは、さもありぬべきようにみなひとおもえり。これまことに道理ぞかし。…  
（意訳：近頃、伝染病で亡くなる人が多いと聞きます。しかし、本

当は伝染病が原因でなくなるのではないのです。私たちは生まれたからには必ず死ななくてはならない命を生きているわけです。だからそんなに驚くことではないのです。そうとは言っても、このように伝染病が流行り目の前で人が亡くなると、なんで伝染病で死んでしまったんだと心を落とし悲しむことがあるでしょう。これももつともなことであります。…）

（四帳目九通）

## 本当の死因は

人が亡くなると必ず死因が示されます。それは新型コロナウイルス原因としたものに限らず、肺炎であったり、ガンであったり、その他の病気、病状であったり。

これは直接的死因であり、医学的死因であります。ましてや崇りだとか、悪業の報いだとか、そのような迷信で亡くなるわけでもありません。ここで蓮如上人が言われようとしているのは「人が死ぬ原因は生まれたからである」と、根本的死因、宗教的死因を言われているのです。

私たちは日常生活をする中で「人は必ず死ぬ」という事を分かっていながら、その事実を直視しないようにして生きていないでしようか。例えるなら、目隠しをして崖に向かって走っているかのよう。そしてその目隠しは、生きていることが当然、死ぬことが落とし穴に落ちるかのよう。偶然に訪れるような錯覚を引き起こします。しかし、本来は生きているこ

と、もっと言うると人間として生まれたこと自体が偶然であり、生まれた限りは必ず死ななくてはならないという必然を抱えて生きていくのです。

## 限りある命

このように「死」を直面することは、とても辛く悲観的になるかもしれません。しかし、「死」を見つめることが「生」を輝かせるのです。このことを2種類に水に例えてみましょう。一つ目の水は水道の蛇口をひねって出てくる水。もう一つは山に持っていく水筒の水。どちらも同じ水ですが扱い方が変わってきます。一つ目の水道の水は普段生活の中で使う水のことを思い浮かべてください。お風

呂に入る時、歯を磨く時、お皿を洗う時。どのように水を使っているでしょうか。蛇口を捻れば際限なく出てくる水と思えば流しにしてしまうことがあります。しかし、山に持っていく水筒の水は違います。道中で飲むにしてもガブ飲みはできません。頂上でお弁当を食べる時、また下山する時、ことも考えて、この水を飲まなくてはいけない貴重な水になります。なぜ貴重な水になるかというと、その水には限りがあるからです。私たちの命もそうです。いつまでもある命と思うならば無駄な生き方になってしまわないではないでしょうか。「死」という私たちの命には限りがあるという事実を見つめる時、今ある命を無駄に生きることができない。また今ある命の尊

さに気付かされるのではないのでしょうか。その命の尊さに気付くと、先んじて亡くなられた人たちが諸仏として私たちに願い、また阿弥陀仏、(無量の寿(いのち)の仏)が願っているのです。

## 終わりに

この新型コロナウイルスは私たちに感染症の恐怖だけではなく、経済的にも精神的にも、様々な苦しみや悲しみをもたらしました。その中において私たちはその事実には埋没するのではなく、その事実と向き合い、私たちの本来性に気付いていく南無阿弥陀仏の教えに出あっていきたいとおもいます。

# お寺の掲示板

一月 二月 三月

一月

二月

三月



道は  
近きにある  
迷える人は  
これを  
遠きに求む  
清澤満之 画

われは  
わろきと  
おももの  
ひとりとしても  
あるべからず  
蓮如 画

本当のものが  
わからないと  
本当で  
ないものを  
本当にする  
安田理深 画

# 本明寺の孟蘭盆（お盆）は 7月1日～8月31日 の2カ月間といたします

## ●浄土真宗の

### お盆飾りについて●

世間一般では迎え火、送り火をする、きゅうりやナスで牛馬を作る（精霊馬）、精霊棚（盆棚）をお飾りするなどを行いますが、浄土真宗ではこうした準備はしなくて結構です。日常の仏事の延長線上で営まれるもののご承知おきください。お内仏を掃除し打敷をかけましょう。あれば切子灯籠（下写真）を一對、もしくは一丁お飾りします。



これまで本明寺では7月13日から16日に都内、8月13日から16日に都外のご自宅にお参りをさせていただいておりました。しかし、ご門徒の生活環境の変化により都合がつかず、お参りを見送られる方や、7月、8月のどちらに勤めればいいのかと迷われる方、実家が8月だったので、8月にお参りしてほしいという要望を伺います。なるべくご希望に添えるように調整をしてみましたが、希望に添えないことも多くありました。そこで余裕をもって日程調整を行えるように本明寺では7月1日から8月31日を孟蘭盆（お盆）期間とさせていただきます。

※土日、祝日を希望される方が多いと思いますのでお早めにご連絡をお願いします。

ご不明な点をご遠慮なくお問い合わせください

| 年忌案内<br>2020年(令和2年) |                  |
|---------------------|------------------|
| 回忌                  | 命終された年           |
| 1周忌                 | 2019年<br>(令和1年)  |
| 3回忌                 | 2018年<br>(平成30年) |
| 7回忌                 | 2014年<br>(平成26年) |
| 13回忌                | 2008年<br>(平成20年) |
| 17回忌                | 2004年<br>(平成16年) |
| 23回忌                | 1998年<br>(平成10年) |
| 25回忌                | 1996年<br>(平成8年)  |
| 27回忌                | 1994年<br>(平成6年)  |
| 33回忌                | 1988年<br>(昭和63年) |
| 37回忌                | 1984年<br>(昭和59年) |
| 43回忌                | 1978年<br>(昭和53年) |
| 47回忌                | 1974年<br>(昭和49年) |
| 50回忌                | 1971年<br>(昭和46年) |
| 75回忌                | 1946年<br>(昭和21年) |
| 100回忌               | 1921年<br>(大正10年) |

**本明寺の行事について**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本明寺の行事を左記の通り、対応させていただきまます。

- ・子ども会・春「花まつり」(4月12日)  
：中止
- ・聞法会  
：お申込みいただいた方に開催の有無を個別にご連絡します
- ・永代経法要(5月31日)  
：5月上旬に開催の有無をご案内します。

その他、ご不明な点はお問合せください。

**このような時にお参りします**

◆法事

上記の年回忌や四十九日法要など

◆祥月命日

上記の年回忌以外の当月命日

◆月命日

毎月の命日

◆春秋彼岸

春季(3月)、秋季(9月)のお彼岸

◆お盆

本明寺に於いては7月1日～8月31日

◆その他の仏事

誕生記念、入学祝い、卒業祝い、成人記念、結婚式、お内仏(お仏壇)安置、入仏式など慶弔を問いません

お参りをご希望される方は、日程、場所(お寺、ご自宅、墓地など)が決まりましたら、一カ月前までにお寺までご連絡ください。ご希望に添えない場合もございませすがご了承ください。

### ◆ 私たちの真宗 ◆

- 一、本尊 阿弥陀如来
- 二、宗祖 親鸞聖人
- 三、宗旨 浄土真宗
- 四、宗派 真宗大谷派
- 五、本山 真宗本廟（京都・東本願寺）
- 六、経典 浄土三部経 仏説無量寿経  
仏説観無量寿経  
仏説阿弥陀経
- 七、教え 本願を信じ、念仏もうさば仏になる
- 八、称名 南無阿弥陀仏
- 九、勤行 正信偈・念仏・和讃・回向・御文
- 十、宗風 礼拝の生活  
《朝夕に勤行をいたしましょう》  
正信の生活  
《迷信に惑わされないうで歩みましょう》  
聞法の生活  
《仏法を聴聞し、生まれた意義と  
生きる喜びをみつげましょう》

### あとがき

▼新型コロナウイルス感染症拡大にあたり、皆様どうぞご自愛ください。  
▼3月に娘が小学校卒業。残念ながら保護者の参加は叶いませんでした。入学式はどうなるものやら…

★ご意見・ご感想・ご質問などをお待ちしています。

★バックナンバーをご希望の方はご連絡ください。すぐにお送りいたします。

発行 真宗大谷派 本明寺  
住職 本田 彰一（釋 彰一）  
〒130-0012 東京都墨田区太平二・七・一  
TEL 03-3623-1536  
FAX 03-3623-1538  
E-mail honmyouji@mx1.ttcn.ne.jp  
URL <http://www1.ttcn.ne.jp/honmyouji/>